

―農場管理を“見える化”し、食の安全を確保する最新手法 GAP―

2012 年 GAP 普及大賞

創業 113 年 肥料商「日の丸産業社」による

北海道の JGAP 普及の取り組みが受賞しました

日本 GAP 協会（理事長：木内博一）は、6 月 28 日に GAP 普及大賞の選考会を開催し、創業 113 年 肥料商「日の丸産業社」による北海道の JGAP 普及の取り組みを含む 3 つの GAP 普及の優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

■受賞事例（資材関係者による GAP 普及の分野）

創業 113 年 肥料商「日の丸産業社」による北海道の JGAP 普及
<受賞者>株式会社日の丸産業社と同社の JGAP 指導員

老舗の肥料商が生産者を支援して、地域農業の魅力向上に貢献している事例として高く評価したいと思います。

同社は平成 19 年より JGAP の普及に取り組み、社内の営業社員の全員が JGAP 指導員の資格を取得しています。札幌周辺や十勝地域を中心に、12 の JGAP 認証農場を指導しました。その他にも北海道内の農協や生産者団体に対して JGAP 普及推進のための研修会を開催しています。

平成 24 年 2 月に同社が支援する形で北海道 JGAP 協議会が設立され、北海道内の JGAP 認証農場が集まって農産物のブランド化に着手しました。強い産地ブランドづくりと、その品質管理体制を構築するために JGAP を活用するという理想的な取り組みが始まっており、同社の GAP 普及に関する貢献は大きいと高く評価します。

また JGAP 対応型会計ソフトを開発し、JGAP を農業経営の近代化に結び付けているところは JGAP の付加価値化という新たなジャンルの構築とも言えると思います。中小企業の現場発信型の JGAP 普及は本賞に値すると判断しました。

GAP 普及大賞は、今年一年間で最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。

2012 年 GAP 普及大賞の選考委員は次の通り。

中嶋康博（東京大学教授）、上杉登（全国肥料商連合会）

岩元明久（元農林水産省東海農政局長）

NEWS RELEASE

創業 113 年 肥料商「日の丸産業社」による北海道の JGAP 普及の取り組みに加え、下記の 2 事例が同時に受賞しました。いずれも優劣付けがたい GAP 普及の優良事例です。

■受賞事例（普及組織による GAP 普及の分野）

農業改良普及センターが中心となった北海道・上川管内の GAP 普及の取り組み
<受賞者>北海道・上川農業改良普及センターと担当普及指導員 伊與田 竜

■受賞事例（流通企業との協業の分野）

「セブンファーム」と「顔が見える野菜。果物。」の GAP 普及の取り組み
<受賞者>株式会社セブンファーム

以上、3 受賞事例につきまして、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場ください。

■シンポジウム「GAP Japan 2012」

日時：2012 年 7 月 18 日 13 時から 17 時

場所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1）

関連ホームページ：http://jgap.jp/LB_06/index.html

問合せ先：佐藤 TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: info@jgap.jp

（取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。）

御社名 _____ 部署名 _____ 御名前 _____

住所 _____ 電話番号 _____